

令和元年 8 月 6 日

関係者各位

秋田県立能代高等学校
第 64 回全国高等学校軟式野球選手権大会
派遣後援会会長 森田 新一郎

募金について（お願い）

本校 軟式野球部が北東北（青森、秋田、岩手）大会を制し、2 年連続 19 度目の全国高等学校軟式野球選手権大会へ出場することとなりました。現在、8 月 24 日からの大会に向け、準備を進めているところです。

つきましては、募金に対しまして特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。社会情勢厳しい折、大変恐縮ですが、一口 1,000 円として、何口でも構いませんので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

はなはだ恐縮ではありますが、8 月 31 日までを寄付期間とさせていただき、募金に関する関係書類を届けさせていただきます。

- 1 募金については、別紙郵便局「振込取扱票」にて送金いただければ振込手数料は無料となります。

口座記号 02250-6-109710

口座名義 秋田県立能代高等学校

- 2 募金終了後の芳名簿等については、下記の事務局まで送付をお願いいたします。（送料が発生する場合は、着払い、送金額から差引等をお願いいたします。）

担当 〒016-0184
秋田県能代市字高埜 2-1
能代高校事務室
事務局 菊地 郁生
TEL 0185-54-2230

第六十四回全国高等学校軟式野球選手権大会出場

募 金 趣 意 書

盛夏の候 皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、能代高等学校軟式野球部は、このたび秋田市こまち球場において行われた第六十四回全国高等学校軟式野球選手権北東北大会において、全国大会への出場権を勝ち取りました。これもひとえに、日頃からの皆様の御支援の賜と衷心より感謝申し上げます。

今回の出場は、指導陣新体制のもとでの二年連続十九度目の快挙であり、校訓「至誠力行」の伝統を引き継ぎながら、日々の練習に精励した結果であります。これまでの文武両道の伝統と校風を更に高く掲げ、明石においても旋風を巻き起こすべく、選手一同、決意を新たにしているところであります。現在は、八月二十四日からの大会に最高のコンディションで臨むことができるよう準備を進めているところです。学校といたしましては、六年後の創立百周年を迎えるに当たり、平成四年以来の硬式野球部との全国大会アベック出場も視野に入れております。

つきましては、「秋田県立能代高等学校第六十四回全国高等学校軟式野球選手権大会派遣後援会」を組織し、広く皆様の御賛同を得て出場選手の活躍を支援したいと存じます。経済状況も厳しい折、誠に恐縮に存じますが、なにとぞ御理解のうえ御寄付を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年八月吉日

秋田県立能代高等学校第六十四回全国高等学校軟式野球選手権大会派遣後援会

会 長	能代高等学校同窓会会長	森 田 新一郎
副会長	教育振興会会長	
〃	P T A 会長	佐 藤 幸 樹
〃	体育後援会会長	幸 坂 義 明
〃	文化後援会会長	大 高 康 夫
〃	高 埴 会 会 長	菊 地 郁 生
〃	軟式野球部保護者会会長	新 岡 浩 司
〃	校 長	山 田 浩 充

※結果報告並びに決算報告については後日ご報告させていただきます。

(お問い合わせ先) 秋田県立能代高等学校第六十四回全国高等学校軟式野球選手権大会派遣後援会事務局

電話番号

〇一八五(五四) 二二三〇

FAX番号

〇一八五(五四) 二二三一

就任1年目で全国へ

2/2(金) 北77

能代の井川良太郎監督 手一人ひとりと握手を交わした。同校軟式野球部OBで、今春、監督に就任。勝ちを求められるチームですから」とフレックスの監督を務め、全国選手権大会に6回連続、優勝と準優勝を1回ずつ成し遂げた島根県立（44）は、今春、大館県立高に異動。今夏、人の教子で、ある井川監督は、29年4月に能代に赴任して副部長を1年間務め、この春、監督になった。

井川良太郎監督(30)



就任1年目で全国選手権大会出場を決めた能代の井川監督

「監督が代わって戸惑った部員もいたと思う」と、春の県大会では準決勝で敗退。負けを覚悟し、一試合ごとにくまなくなつてくれた」と目を細める。練習メニューは選手たちが組み立て、監督やコーチがサポートする自主性を重んじた指導に取り組み。副部長だった時

自主性重んじ、努力促す

は、選にとつて（私が）逃げ道になつてもいいかなと思つていたが、監督となれば、チームの信念を貫かないといけない」と真剣に向き合った。主戦の袴田世樹（3年）は「井川先生を、明らかに連れて行く」という目標が奮起につながった」と話す。

監督として挑む初めての全国選手権大会は約3週間後に開幕。能代は伝統あるチーム。生活態度をはじめ、全力疾走や声掛けが結果に結び付く」と陳を見せたい野球で飛躍を誓う。

優勝の目標は全島さんはうれいというより、ほつとした。井川監督は夏に臨戦を合わせて取り組んだ。これからは、自分も考えを大切にしたい」と話した。

耐えた経験今後に

この夏、快勝が目立っていた能代にとって、全国選手権大会を懸けた秋田工との一戦は、耐え忍ぶ展開が続いた。秋田工の追撃をかわしての勝利に、杉澤峻真主将（3年）は「苦しい試合運びでも勝てたことが収穫」と語った。

先攻の秋田工に2点を先取されたが、その裏に長短3安打などで4点を入れた能代は、やはり打撃力の強さを印象付けた。しかし、秋田工も2回に1点を返し、意地を見せた。

序盤3回までに両チーム合わせて失策4。能代3、秋田工1と、拙守が得点に絡む場面も見られ、中盤以降の試合運びが焦点となった。

試合を引き締めたのは、4回からマウンドに上がった柴田大輝（同）だった。コーナーを突く丁寧な投球で、4、5回は三者凡退。6

救援の柴田、粘り強く

回は先頭打者に安打を許すも、後続3人を連続三振。7回は野手の失策により無死の走者を背負ったが、併殺で切り抜けた。9回まで投げて最少失点という出来で勝利をたぐり寄せた。

打線の援護は受けられなかったが「いつも打線陣に助けてもらっている。気持ちを前面に出して、キャッチャーに従って投げた」と柴田。井川良太郎監督は「ロングリリーフになったが、期待以上の投球。ピンチを迎えても、よくしのいでくれた」とたたえた。

自慢の打線は8回まで24のアウトのうち、飛球が12と半数を占めた。杉澤主将は「追加点を奪えず、流れが秋田工に傾いてしまいうる場面もあったが、耐えることができた。打撃も守備も鍛え直したい」と、全国選手権大会に向けて表情を引き締めた。

払 込 取 扱 票

通常払込料金
加入者負担

振替払込請求書兼受領証

02

口座記号

口座番号 (右詰めで記入)

金

千

百

十

万

千

百

十

円

02

22

50

6

10

97

10

加入者名

秋田県立能代高等学校

料
金

備
考

通
信
欄
・
ご
依
頼
人

〒
おしこ
おなま

(ご連絡先電話番号)

様

日
附
印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出してください。

口座記号番号	0	2	2	5	0	6	通常払込 料金加入 者負担
	109710						
加入者名	秋田県立能代高等学校						
金 額	千	百	十	万	千	百	十 円
ご 依 頼 人	様						
料 金							
備 考	日 附 印						

ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。
これより下部には何も記入しないでください。

この受領証は、大切に保管してください。